

## 愛有会 運営事業所

### 久米川病院

介護老人保健施設

久米川  
通所リハビリテーション

訪問看護ステーション

### はぎやま

指定居宅介護支援事業所

### はぎやま

指定居宅介護支援事業所

### こはぎ

### 三愛病院

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-393-5511**

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-313-0710**

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-396-7700**

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-391-3007**

東京都東村山市栄町 2-10-51  
NSビル 107 2階  
TEL. **042-391-3021**

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111**



社会医療法人社団 愛有会

# 愛有会通信

■発行者／東京都東村山市本町4-7-14  
社会医療法人社団 愛有会  
TEL.042-390-2033  
<http://www.aiyukai.jp>

社会医療法人社団 愛有会

# 愛有会通信

令和2年1月 発行

Vol.6

通算 第225号



## 愛有会 基本理念

### 1. 地域包括ケア

私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていただける街づくりに貢献します。

### 2. 環境経営

私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。

### 3. 健康経営

私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。



社会医療法人社団 愛有会

理事長

**阿部 真也**

久米川病院 院長  
介護老人保健施設 久米川 施設長

あけましておめでとうございます。

昨年は、新しい天皇皇后の下で平成から令和へと新時代のスタートを踏み出しました。

また、我が国で初のラグビーワールドカップが開催され、日本チームの活躍に日本中が沸き立ちました。本年は、わが国で二度目の東京オリンピックの開催に向けて、東京都と札幌市がその準備を急ピッチで進めています。オリンピックが日本のみならず、世界の平和と安定に大きく貢献できることを願ってやみません。そうならなくてはいけないと思います。

一方で、東日本大震災の復興も未だ途上であるにも関わらず、毎年のように台風や大雨による大規模災害が多くの人々の生活を苦しめています。世界を見れば、米中の貿易摩擦や英国の EU 離脱等、世界情勢を不安定にする問題が世界各地で発生し、協調よりも自国第一主義が顕著にみられます。そうした先行き不透明な中で世界経済の減速も現実のもの

となりつつあります。

我が国も少子高齢化・労働人口の減少・新たな産業分野への進出の遅れ・デフレ経済の持続・低金利政策・年金への不信感等、問題は山積しているように思われますが、今を生きる私たち現役は、これらを解決していく責任と決意を胸に抱いて進み続けなくてはなりません。

昨年より社会医療法人 1 年生となった私たち愛有会は、医療・介護を通じて一層の社会貢献を果たすために、東村山市本町に久米川病院を移転新築し、一からスタートしました。

八王子市の三愛病院では、院長、看護部長以下、新しい職員を多く迎え、新たな組織体制の元で、施設のリニューアルを行い、社会貢献の為に一段とパワーアップ致しました。

愛有会の全職員は、どのような環境にもしなやかに適応し、次の世代に夢と希望のバトンを渡すべく全力で取り組んでまいります。



常務理事

**高野 英文**

(経営管理本部 前本部長)

新年あけましておめでとうございます。愛有会は、昨年令和元年 10 月に本院久米川病院を東村山市役所に隣接する好立地に新築移転し同建物内には新たに「介護老人保健施設」も開設。また、屋上には長年構想であった災害時にも地域に貢献できる拠点施設となるべくヘリポート等も設置することができました。

更に、八王子の三愛病院では、新院長が就任され、看護部長をはじめ看護部門と介護部門の新体制も整い、他に先駆け 120 床の介護療養病床を「介護医療院」転換に向けて本格的なリニューアル工事を始め、本年 1 月末に竣工、4 月より「介護医療院」としてスタートさせる予定です。

新しい数多くの課題と取組まなくてはならない職員たちには、阿部理事長のもと、解決法を皆で協力し合い、利用者様とご家族様へのよりよいサービスの提供を日々追い求めてもらえるよう期待しています。



理事

**田村 浜子**

(久米川病院 看護部長)

あけましておめでとうございます。

引っ越しを終え 3 か月経過しました。老健や包括ケア病棟の様子をお知らせします。

施設に慣れず老健ケアをどの様に進めるか右往左往しており、利用者中心のケアの動きはまだです。しかし、ユニットは 10 人ずつ、協力ユニットを合わせても 20 人ですから、情報を把握しやすくなりました。ケアマネジャーはプランの立案と見直しを丁寧に行い、ご家族やスタッフから情報を集め、プランに繋げて周知をしています。

包括ケア病棟の食堂では、今まで落ち着かなかった方がリラックスしています。広くなった廊下を車椅子で自操し在宅復帰準備の真剣な表情があります。

職員用ラウンジでは朝、昼、夕と交流の場となっています。

施設出入り口は正面のほか、救急・感染・健診・老健・多目的ホール用等それぞれ独立し、その役割は様々です。地域包括ケアシステムの一環として機能を果たしたいと思います。

本年も宜しく願います。



理事

**浅野 孝幸**

(経営管理本部 本部長)

あけましておめでとうございます。

東村山市萩山町から本町に移転して新築整備を行いました久米川病院も昨年 10 月 1 日に予定通り開設することができまして、令和として初めての新年を迎えます。

竣工時の式典ならびに内覧会では、総勢で 600 名を超える地域の皆様方のご来場を賜りまして、多くの皆様から心温かい励ましのお言葉を頂戴致しました。改めまして皆様方の深いご理解とご支援に心より感謝を申し上げます。

本年も、久米川病院では新たに併設した介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を含め、地域に貢献できる事業運営に邁進して参ります。また、八王子市で開設しております三愛病院におきましても、本年 4 月から新たに介護医療院を併設してリニューアル開設する計画の実現に向けて取り組みを進めて参ります。

本年もご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 令和元年 10月1日 介護老人保健施設久米川 新設しました



## 理念

私たちは、利用者の尊厳を守り、より良い介護と機能訓練を行い、居宅における生活への復帰を目指します

## ケア方針

1. 多職種からなるチームで、在宅復帰・認知症・看取りに対する個別ケアに取り組みます
2. 生活の質を高めるケア・リハビリテーションを行います
3. 地域との結びつきを大切に、地域と一体になったケアを担っていきます

2019年10月 開設により制定

## 通所リハビリテーション

責任者の理学療法士、長尾と申します。当施設は、令和元年10月1日開設の介護老人保健施設に併設されました。東村山市には歴史と実績のある施設や新進気鋭の施設など、多くの通所リハビリテーション事業所が存在しています。私たちもその仲間に加えて頂き、地域との連携を大切にしながらリハビリテーションにより在宅生活を支えています。



通所リハビリテーション  
責任者 長尾 重知

### ～ご利用コース～

#### 【半日コース】

午前の部 9:30頃～11:45頃

午後の部 13:30頃～15:45頃

#### 【1日コース】

9:30頃～15:45頃

ご利用希望者の見学も受け付けています。

見学可能時間

10:00～11:30、14:00～15:30



私たちがサポートします！

### 1日の過ごし方

送迎車でご自宅へ送迎

体温・血圧測定

準備体操

個別リハビリテーション

水分補給

余暇活動

昼食・入浴のサービスもごさいます

## ユニットリーダーご挨拶



### 3F やまぶき



米玉利 美幸

やまぶきは、定床20名で従来型の施設です。多床室が4部屋あります。他のユニットと変わりなく、利用者様に合ったケアを提供しご本人様、ご家族様が安心して過ごしていただけるようスタッフ13名で、頑張っています。

### 3F なのはな



高橋 真弓

明けましておめでとうございます。なのはなです。老健開設より3ヶ月、入居者の皆様と共に無事新年を迎えることが出来ました。まだまだ発展途上にある施設とスタッフですので兄弟ユニットひまわりと共にまい進してまいります。

### 3F ひまわり



平良 京子

明けましておめでとうございます。老健3階ひまわりユニットリーダ平良です。昨年10月の移転より早3ヶ月あつという間に過ぎてしまいました。今年はユニット名同様ひまわりのように明るく、職員一同頑張っています。

### 4F さくら



大神 球美

初めまして、さくらです。ユニット名さくらのように、親しみやすく馴染みの関係を築き、入所者様の笑顔を引き出すケアと、安心して生活できる環境の提供に努めています。

### 4F なでしこ



相場 真弓

ユニットリーダー、兼フロアリーダーをさせて頂いております相場です。昨年10月に移転し慣れないことも多々ありますが、入所者様にも、働く職員にも良い環境を、皆で作上げられるよう頑張りたいと思います。

### 4F ふじ



井本 佳織

病院から老健(ユニット)となり、新しいスタッフと共に、穏やかで明るいお家のような暮らしを入所者様に提供できるよう、共に同じ方向性で常に協力しあいながら助け合い、毎日楽しく出来たらと思います。

### 4F すみれ



谷口 織江

私達すみれは、お隣のふじのスタッフと共に入所者様の支援を行っています。試行錯誤しながらも、私達が常に心掛けていることは、入所者様が安心して過ごせる環境作りをチーム一丸となって取り組んでいることです。

## ユニット型とは？

普段の生活の延長で、寝室(個室)、居間、台所、トイレ、風呂等があり、10人の単位(ユニット)を中心に利用者様の在宅復帰を目指し、日々のケア・リハビリテーションを行うものです。

# 新しい久米川病院を紹介します

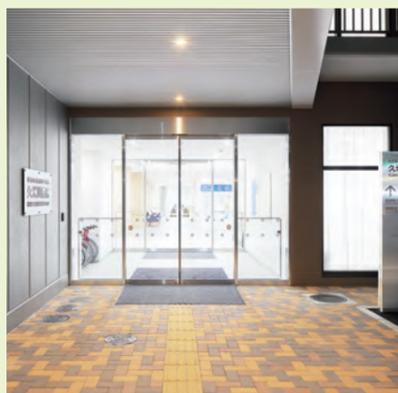


総合待合

※災害時等、ソファは簡易ベッドとして使用できます。



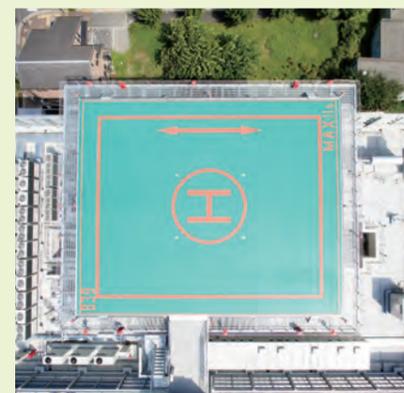
CT室



病院正面玄関



エレベーターホール



ヘリポート



健診部控室



地域包括ケア病棟・病室



老健・共同生活室



老健・ユニット個室

## 福祉用具展示会

11/14(木)~16(土)の3日間、当院の多目的ホールにて、地域の皆様に福祉用具展示会が開催されました。会場には車いすやベッドの他、すくい皿やスプーンといった自助具等も展示されて、実際に試乗したり、手に取って使用感を確かめたりすることが出来ました。



スタッフが車いすの操作を説明

## 外国人対応シミュレーション

11/11(月)に、日本語が話せない外国人の患者様が来院した際のシミュレーションを実施しました。当院は現在、電話を通じた医療通訳サービス、メディフォンと提携を結んでおり、英語、中国語、ベトナム語等17言語(※)に対応出来る体制を整えております。

今後も地域の外国人の患者様の不安に寄り添える支援を目指していきます。

※事前予約が必要な言語もありますので、不明な点はお問合せください。



シミュレーションの様子

## 介護予防大作戦 in 東村山

11/29(金)、東村山市の本町市民センターで『2019 介護予防大作戦in東村山』が開催されました。当院の健康セミナーチームが講師として「もぐもぐ食べて〇〇〇〇元気!」を講演し、クイズや体操を実演しながら、免疫力を高める食事や、転倒予防について紹介させていただきました。



挙手をしてクイズを楽しむ参加者



## 年頭所感



三愛病院 院長  
大川原 真澄

あけましておめでとうございます。

10月より三愛病院の院長を務めている大川原 真澄と申します。岩手県に30年以上住み、雄大な岩手山のふもとにある病院に勤務していました。

一般外来のほか、高齢者を中心とした入院、訪問診療、施設の嘱託医をしていましたので、その経験を活かして医療を行っていきたいと思います。

この病院に赴任してまず感じたことは、周囲が緑に囲まれていて居ながらにして森林浴が楽しめることです。とても心が癒され故郷にいるような安堵感があります。この環境を医療、介護に生かせればと考えております。

さて最近では人生100年といわれていますが、もとよりただ長く生きることだけが目標ではありません。より良い人生を送ることこそが目標です。そのためには、食事に注意して、お酒もほどほどにし、運動をして規則正しい生活を送る必要がありますが、それをもってしても無病で、ピンピンして100歳まで生きることが困難です。

さまざまな病気やけがを乗り越え、或いは受け入れて、残った機能を使って、自分らしく生きていけるよう努力する必要があります。そこで必要なのが周囲の人々によるサポートです。私たちは全力で、そのサポートを行い皆が笑顔で100歳を迎えられるように努力していきたいと思います。

本年もどうかよろしくお願いいたします。

### <プロフィール>

大川原 真澄(おおかわら ますみ)  
1987年3月 岩手医科大学 医学部卒業医師免許取得

#### 【資格】

- 日本医師会認定産業医
- 日本医師会認定健康スポーツ医

#### 【加入学会】

- 日本内科学会・日本呼吸器学会
- 日本アレルギー学会

#### 【趣味】

走ること



飛騨高山ウルトラマラソン 100km 完走

## 介護医療院について

介護医療院開設準備室 室長 石川 剛

2018年4月に制度化された介護医療院の開設に向けて、院内の改修工事が10月中旬から1月末日までの工期にて始まっております。この工事期間中、利用者はもちろんのこと、面会に来られるご家族や職員の安全確保を最優先に工事を行ってまいります。

改修工事により、これまで以上に快適な居住空間作りと清潔空間の実現を目指して、空調設備の更新や洗面設備の新設、浴室改修、エレベーターホールの刷新を行い、ご自宅のようなくつろぎとやすらぎを感じていただける居住空間を創造して参ります。

今回の改修工事の一例になりますが、4人部屋の空調設備については室内機自体がニオイやカビ、細菌やウィルス等の発生増殖を抑制する機能を有しており、エアコンから出る空気も清潔に保てるようになります。加えて、フロアの随所に木目調のデザインを取り入れることで落ち着きのある寛いだ雰囲気の中で療養生活していただけます。

工事期間中は、騒音等のご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 改修後のイメージ図



エレベーターホール前は、茶系の色を中心に落ち着いた風格のあるイメージ



病棟の壁紙はホワイト・クリーム色を基調とし、廊下床については木目調で全体的に温か味のある雰囲気

## 介護医療院ロゴマーク



介護医療院とは、長期的な医療と介護ニーズを併せ持つ方を対象とし、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」などの医療機能と「生活施設」としての機能とを兼ね備えた介護保険施設です。(厚生労働省案内より)

## 訪問看護ステーション はぎやま



R1.10.1.運命の日 訪問看護ステーションはぎやま 所長 佐野 みゆき

あけましておめでとうございます。

昨年10月より久米川病院内に「居宅はぎやま」と共に移転し、栄町分室もサテライトとして「居宅こはぎ」と共に稼働しております。事業所が二か所になり、事業所間の行き来や、居宅との連携にもまだ慣れていないのですが、連絡ミスのないよう、朝は合同でミーティングをしたり、

常に電話をし合ったりと、密にすることを心掛けています。

もちろん勉強会や研修なども、今まで通り合同で行っています。月一勉強会「村の集い」も、次回より久米川病院1階の多目的ホールで行いますので、楽しみにしててくださいね。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 指定居宅介護支援事業所 はぎやま

事業所の新体制 居宅介護支援事業所はぎやま 所長 高橋 佐知子

昨年10月より事業所が新体制でスタートしました。当初は慣れない事もあり、利用者様や関係事業所の方々にはご迷惑をおかけする事もありましたが、

現在は少しずつ整備されてきております。「訪問看護ステーションはぎやま」「居宅こはぎ」とは毎朝顔を合わせて申し送りをしており、今までと変わらず連携をとり、対応していきます。そして久米川病院のスタッフとも、今まで以上に連携していきたいと思ひます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



## 指定居宅介護支援事業所 こはぎ

新規オープンからの日々 居宅介護支援事業所こはぎ 所長 立石 あさひ

10月に事業所を開業して2ヶ月が過ぎました。利用者様への訪問時や、他事業所への挨拶回りの際、名刺をお渡しして説明すると、「えっ、こはぎ？おはぎじゃないの？」「誰がつけたの？」

「可愛いですね」と、事業所のネーミングについて盛り上がりました。

皆様には住所や連絡先の変更でご不便をおかけしておりますが、温かく対応していただき、ひたすら感謝する日々です。

「こはぎ」の定着にはまだまだ時間がかかると思ひますが、皆様にしっかり覚えてもらえるよう、真摯に活動していきたいと思ひます。

引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。



## 東京都訪問看護教育ステーション事業主催

### 「訪問看護の世界」にシンポジストとして参加しました



地域の訪問看護師人材確保の取り組みとして行われたイベント「訪問看護の世界」。看護師不足が問題となる中、とりわけ訪問看護師を希望する方はなかなかいないのが現状です。でも、訪問看護は面白い！みんなに知ってもらいたい！と、11月16日地域の看護師・看護学生を対象に「訪問看護ステーション協会」との共同で開催されました。

「意思決定支援をどう行うか」をテーマに、「治療選択のとき」と題し、突然がんと宣告された方に、看護師としてどうアドバイスをしたらよいのか、どんな治療の選択があるのかをお話ししました。本人・家族のそれぞれの思いを受けとめ、家族・医師を飛び越えないよう、縁の下の力持ちとして支える。大変ですが、やりがいがある現場の声を届けられたのではないかと思います。興味のある方、訪問看護の世界へ一緒にどうですか？



### 中部地区第3回地域ケア会議にてお話しをしました！

昨年「はぎやま」が本町へ移転となり、中部地域包括へ仲間入りさせていただくこととなりました。早速参加した地域ケア会議では、在宅で亡くなっている状態を発見することが多いケアマネジャー・ヘルパーを対象に、東村山警察署生活安全課・市役所高齢支援課・訪問看護師(はぎやま所長佐野)より事例を発表しながら、「在宅で亡くなる時に備えること」について話し合いました。身寄りがない方が在宅で亡くなった場合、遺体の引き取り・葬儀・死後事務を誰がどこまで介入すれば良いのか、どこへ知らせたら良いのか。公的なガイドラインがないため、今回の会議は地域で確認しておく大変良い機会でした。

### 「在宅医療におけるケア・マネジメント」研修を開催しました！

10月24日「東京都訪問看護ステーション協会」と大日本住友製薬(株)の共催による研修会を開催しました。講師として国立精神・神経医療研究センター病院の先生お二人をお招きし、参加者は100名を超え大盛況でした。

まず脳神経内科部長の高橋裕二先生から、パーキンソン病とその他類似する病気との診断がいかに難しいかをお話しいただきました。

その後、西川典子先生より、パーキンソン病の薬物治療に関してご講義いただきました。

参加者は医師や看護師だけでなく福祉用具の方や事務員等様々でしたが、専門職でなくてもパーキンソン病を理解する上でとても分かり易く、普段なかなか聞くことのできない貴重なお話しでした。

